

講義形式	ケース・スタディ & プレゼンテーション	教室	オンライン
講義名	キャリア開発実践論	初回授業	R4. 12. 1
曜日・時間	木曜日・18時半～21時	担当教員	牛窪 潔

■授業内容と方法

本講義では、まずポートフォリオの基本的な考え方と活用法を、講師自身が作成したポートフォリオを題材に演習形式で解説する。さらに、受講生による自己分析・自己診断作業を行い、グループワークやコーチング技法等を取り入れながら、ポートフォリオを作成・完成させる。なお、一連の体系的な研修を受けていく中で、本講義で自ら作成したポートフォリオを、自己評価・自己管理のツールとして活用していくことも、本講義を開講する目的の一つである。

授業の内容としては、「キャリアデザイン」と「革新のマネジメント」を学問的な課題として、毎回、その日の講義タイトルに即したテーマを受講生に提示し、学び、議論し、自らの見解を創り上げていく訓練を行う。

授業方法については、教員と学生との対話型授業を中心に、ビデオ視聴、グループワーク、ディスカッション、等を織り交ぜ、参加型の講義を進めていく。

■達成目標

1. 毎回の授業で提示されるテーマに対して、自分自身の意見や考え方を論ずることができる。[自律性]
2. グループ・ワークを進める中で、クラスメートと協力しながら課題を紐解くことができる。[社会性]
3. グローバルな視点から自身の価値観(自分が大切にしたいと考えている考え方や働き方)を絞り込むことができる。[地域・国際性]
4. 自身のオリジナリティを発信し、かつ他人の意見を素直に傾聴することができる。[コミュニケーションスキル]
5. テーマを紐解く際に必要な情報を収集・考察・活用することができる[情報リテラシー]
6. ケース・スタディを通じて、問題を予測し、原因を究明し、対策を考案することができる [問題解決力]
7. 自身のマネジメント観(マネジメント的な考え方や思考方法)を通じて物事を考えることができる[専門性]

■評価基準と評価方法（下記数字番号は、達成目標の数字番号と対応しています）

【評価方法】

1. ディスカッションへの参加度
 - 1-1. 教員の質問に対して、自分の意見を自分の言葉で率直に論じているか
2. ディスカッションへの参加度
 - 2-1. グループ・ワークの中で、相手の意見に耳を傾けているか
 - 2-2. また相手の意見に対して相応しいコメントをしているか
3. ポートフォリオ
 - 3-1. ポートフォリオの内容として、授業を通じて蓄積してきた知識や必要情報が記されているか
 - 3-2. 自身の価値観やオリジナリティを自分の言葉で明確に表現しているか
4. ディスカッションへの参加度
 - 4-1. クラスメートの声に真剣に耳を傾け、かつ自身の強みと魅力を自分の言葉で明確に表現しているか

【評価基準】

- ① ポートフォリオ : 50% (評価基準は、A:50点、B:40点、C:30点)
- ② 出席 : 50% (7割以上の出席が単位取得に必要)

■履修条件
特になし。 唯一の条件は“やる気と情熱”
■授業計画
第1回(12/ 1) オリエンテーション 第2回(12/ 1) ポートフォリオとは何か 第3回(12/ 1) ポートフォリオ活用法 第4回(12/ 8) マネジメントとは何か 第5回(12/ 8) 革新のマネジメント：ホンダのケーススタディ 第6回(12/15) 革新のマネジメント：未来工業のケーススタディ 第7回(12/15) 革新のマネジメント：未来工業のケーススタディ 第8回(12/22) プレゼンテーション：ミッションステートメント 第9回(12/22) プレゼンテーション：ミッションステートメント
■事前・事後学習
事前に配布される資料の精読と、内容理解に必要な情報の収集、さらに毎回の課題に対する自身の意見や考え方を準備しておくこと。
■教科書
特に指定しない。毎回プリントを配布しそれに基づき授業を進めていく。
■参考書
服部治・谷内篤博編『人的資源管理要論』晃洋書房。 厚東偉介・金子義幸編『人事マネジメントのケースと理論』五紘社。 服部治・竹村之宏編『経営・人事労務管理要論』白桃書房。 二神恭一編『ビジネス・経営学辞典』中央経済社。
■備考(メッセージ)
生きた学問を楽しみましょう
■オフィスアワー
アポイントメントを取って下さい
■メールアドレス
ushikubo@grs.u-ryukyu.ac.jp rgrenkei@acs.u-ryukyu.ac.jp